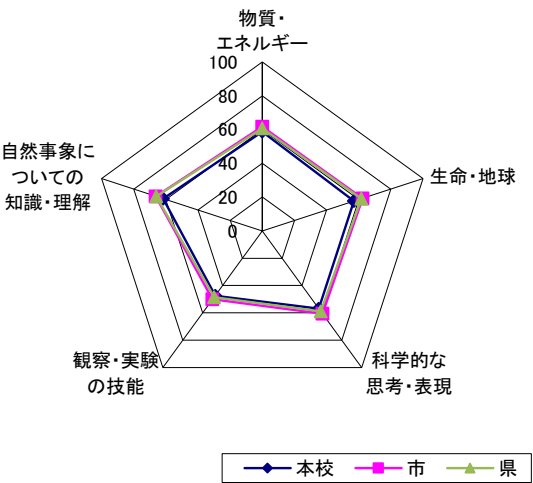


宇都宮市立富士見小学校 第5学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	58.7	61.7	60.7
	生命・地球	57.0	62.4	61.6
観点	科学的な思考・表現	56.9	60.6	58.9
	観察・実験の技能	47.4	50.1	48.6
	自然事象についての知識・理解	61.7	66.3	66.0



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	●本領域の平均正答率は58.7%であり、県の正答率を2ポイント下回った。 ○「閉じ込めた空気を圧す際の体積と手応えの変化が分かる」の問題の正答率は86.3%で、県の正答率とほぼ同じであった。 ●「ポットを押したときに湯が出る理由が分かる」の問題の正答率は39.5%で、県の正答率を1.9ポイント下回った。 ●「白く見える物の正体が湯気という液体の水と分かる」の問題の正答率は22.6%で、県の正答率を6.2ポイント下回った。 ○「乾電池2個を直列につないだときの回路図が分かる」の問題の正答率は58.9%で、県の正答率を6.1ポイント上回った。	・実験に対する関心意欲が高く、前向きに取り組む傾向がある。しかし、実験からの考察までには至っていないこともあるので、考えたり話し合ったりする時間を確保していく。 ・実験から得た知識が実際の生活のどのような場面に役立っているのかまで十分に説明していく。 ・生活経験で得てきたイメージを正しい知識に置き換えられるように実験を工夫する。
生命・地球	●本領域の平均正答率は57.0%であり、県の正答率を4.6ポイント下回った。 ○「気温の変化から天気の様子を推測し、理由を説明する」の問題の正答率は53.2%で、県の正答率を1.8ポイント上回った。 ●「ラップの内側に水滴が付いた理由を説明する」の問題の正答率は61.3%で、県の正答率を8.9ポイント下回った。 ●「方位磁針の適切な操作方法が分かる」の問題の正答率は30.6%で、県の正答率を5.6ポイント下回った。 ○「星座の動きを捉えるために適切な記録方法が分かる」の問題の正答率は54.8%で、県の正答率とほぼ同じであった。	・観察のポイントを明確にしたり、良い例を見せたりしながら繰り返し指導していく。 ・前に学習した実験の知識を活かして、関連付けて考えさせていく。 ・理科に限らず、様々な生活の場面で、学習した道具類を活用できるよう助言していく。